

2026 年 7 月 9 日

各 位

会 社 名	株式会社PRO HOLDINGS (コード：594A TOKYO PRO Market)
代 表 者 名	代 表 取 締 役 永井 健三
問 合 せ 先	取締役管理統括部長 稲葉 紳文
T E L	084-999-6110
U R L	https://www.proholdings.co.jp/

TOKYO PRO Market 上場目的の開示に関するお知らせ

当社は、2026 年 7 月 9 日に TOKYO PRO Market への新規上場に際して、上場目的の開示をすることを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的、活用方針

当社の経営理念は、企業として全従業員の物心両面の幸福を追求しながら、科学・電気・電子・通信分野の高度な技術力を活かして、地域社会から世界全体の進歩と繁栄に貢献することです。その中で、人々の生命と財産を守る「安全・安心・快適・循環」をキーワードに持続可能な社会のあり方を実践しております。

TOKYO PRO Market へ上場することで、この当社経営理念を更に発展させ、社会のために必要不可欠な企業として進化し続けることが目的であります。広島県福山市を起業・発祥とした企業規模を、全国展開、さらには海外進出も視野に入れ、永続的な事業拡大を目指します。具体的には、5 年後 2031 年に連結売上 100 億円超を目標としております。

上場により期待される効果は、企業の管理体制と情報開示の透明性が向上し、取引先・顧客・金融機関からの社会的信用が高まることです。従業員の意識改革を通じて、道徳心や礼節・資質の向上が期待されるほか、企業認知度の向上により優秀な人材の確保が容易となり、従業員のモチベーション向上にもつながります。

2. 目的の達成のための対処すべき課題

① 優秀な人材の確保および企業認知度の向上、積極的な I R 活動

上場会社という社会的な信頼性と、整備された社内ガバナンスを背景に、魅力的な会社として認知され、入社後も上場会社としての各種規程・規則の運用のもと、従業員のエンゲージメント向上と離職率の低下を期待しております。若手技術者の確保及び育成が、持続可能な企業活動の原点であり、幅広く求人募集する際の大きなインパクトを持ちます。

また株主や投資家に向けて、自社の情報を自発的かつタイムリーに提供する活動を通し、健全経営を邁進し信頼していただける企業を目指します。

② 全国展開

建設業においてM&Aを積極的に実施し、商圈エリア拡大及び専門技術者の確保を実施してまいります。また、製造業においては、自社商品をお取り扱い頂けるパートナー店様を全国津々浦々100%カバーできるよう増やし、街頭防犯カメラ市場におけるマーケットシェアを現在の約25%から50%に拡大致します。

③ R & D（研究開発）

製造業（防犯監視カメラ）において、市場の要求・仕様をリアルタイムに自社製品に反映させ、競合他社との商品差別化をスピーディに実現します。自社開発に必要な設備・装置や、検査が実現できる環境を整備します。

④ 資本政策

現段階においては、役員持株会と従業員持株会の導入を検討しております。これは役職員のモチベーション向上のみならず、安定株主対策として経営と株主利益の一致を通じて、中長期の会社の安定にも資するものと考えております。また、将来的な安定株主対策として、取引金融機関や主要取引先などへの第三者割当増資や株式売却も検討していく予定です。

なお、本資料に記載された内容およびスケジュールは、現時点での予定に基づくものであり、当社の今後について確約するものではないことをあらかじめご了承ください。今後、本件に関して開示すべき事項が発生した場合には、速やかに公表を行います。

以上